



しりとりが終わらない!?

ガボンの首都『リーブルビル』から車で約1時間離れたところに『Ntoun (ントゥム)』という町があります。ここが半田先生の暮らしている町です。『ン』から始まる地名は、日本ではなかなか聞かないかもしれませんが、外国には意外と多いです。これで、しりとりも終わることはありません！(笑)ぜひ、この機会に覚えてくださいね、ントゥムです♪



断水43日目

これが前回のおたよりの答えです。この町にひっこしてきてから、半田先生にふりかかったアフリカの洗礼…。『断水』とは、水道のじゃぐちをひねっても、水が出てこず、水が使えない状態のことです。日本では、じゃぐちをひねれば当たり前のように水もでるし、お湯も出る。しかも、飲めるほどきれいな水が出ますよね。しかし、世界に目を向けると、それは当たり前のことではありません。

今、半田先生は、毎日水くみをして生活をしています。その、くんできた水でさえ、チョビチョビと節約しながら使います。改めて考えてみると、1日の中で水を使う場面はたくさんあります。みなさんも、どんな時に水を使っているか、もう一度ふり返ってみてください。

絵の具セットを洗う時、楽しいからといって、水を長時間バシャバシャ流しっぱなしにしていますか…？お風呂のシャワーも、長時間ドバドバ流しっぱなしにしていますか…？

そんな時は、すこ〜だけでも、半田先生の顔を思い出してください(笑) じゃぐちは、0.3秒で閉められます。こまめに閉めよう！！



1本10リットルの水。これを何本も貯めて断水生活を送っています…。

ガボンから生の情報をお届け！！

ここをチェック！！

～『半田先生、水修行』の巻～

QRコードを読み取ると

映像が見えます！→

【パスワード：gabon】

